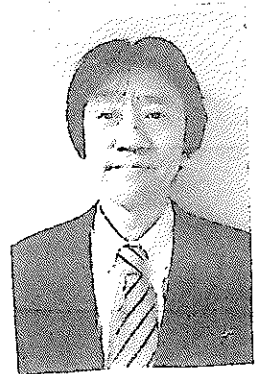


子供を虐待や性犯罪から守るNPO設立

後藤 啓二氏



フォーカス

子どもを虐待や性犯罪から守るため、法律の整備や支援の充実を目指すNPO法人「シンクキッズ」(東京・港)を立ち上げ、今月、初めてのシンポジウムを開いた。「子どもは虐待が原因で、非行に走ってしまうこともある」。警察に23年間勤務、特に大阪府警で生活安全部長を務めたときは数多くの青少年の事件に接した。暴力、援助交際、自殺未遂……。「警察官が保護する青少年の多くが、親から悲惨な虐待を受けたことがある」と現場で知った。児童相談所に寄せられ

厳しい現実 真っすぐ見据える

る虐待に関する相談は、年間約6万件にのぼり毎年増加している。さらに「悪質、凶悪化している」とも見ている。食事を与えられずに衰弱したり、インターネット上に性的虐待を受けている自分の裸体の映像が流出したりして「長い期間、身体的にも精神的にも苦痛が続くこともある」。心が凍りついて「大人になっても自分を大切に思えなくなってしまう」。

法制度の整備の必要性を感じて司法試験に挑み、2005年に弁護士に転身。子どもの安全を守る活動を本格的に始めた。「前向きに人生を生きていけるよう支援がなければ、その子は一生苦しんだまま」。虐待や性的犯罪の被害を受けた子どもが治療やカウンセリングを受けられるよう、児童相談所や警察と連携して取り組む。

兵庫県出身。おだやかな物腰、優しい性格だが「課題は山ほどある」と、厳しい現実を真っすぐに見据える。

〓ごとう・けいじ、53歳

25.2.18 日経